

地域別検討協議会学区別検討資料(上川南学区)

上川南学区高校配置計画の見込み												
区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの 増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの 増減		
学区内中卒者数	3,318	3,239	3,220	3,203	3,084	3,120	2,946	2,922	▲ 396	▲ 281		
対前年増減	▲ 23	▲ 79	▲ 19	▲ 17	▲ 119	+ 36	▲ 174	▲ 24				
旭川市中卒者数	(2,576)	(2,507)	(2,455)	(2,475)	(2,359)	(2,401)	(2,280)	(2,265)	▲ 311	▲ 210		
対前年増減	+ 11	▲ 69	▲ 52	+ 20	▲ 116	+ 42	▲ 121	▲ 15				
富良野市中卒者数	(161)	(144)	(178)	(153)	(159)	(146)	(115)	(114)	▲ 47	▲ 39		
対前年増減	+ 1	▲ 17	+ 34	▲ 25	+ 6	▲ 13	▲ 31	▲ 1				
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)～13(2031)年度までの見通し		摘要		
	普通	職業	計									
旭川東	6		6	1			公私比率勘案後0～1学級に相当する中卒者の減	公私比率勘案後4年間で4～5学級に相当する中卒者の減				
単 旭川西	5		5	0								
単 旭川北	5		5	-1								
総 旭川南	5		5	0								
単 旭川永嶺	5		5	0								
旭川商業		商 5	5	0								
旭川工業		工 6	6	34								
旭川農業		農 4	4	7								
鷹 栖	1		1	21								
東 川	2		2	9								
美 瑛	1		1	22								
中高 上 川	1		1	19								
単 富良野	4		4	31	普▲4							
富良野緑峰		商 1 農 1 工 1	3	76	商▲1 工▲1 農▲1							
新 設 校					普+3 工+1 農+1 (単位制導入)							富良野緑峰高校校舎を使用
上富良野	1		1	18								
*南富良野	1		1	20								
16校	37	18	55	257	普▲4 普+3 工▲1 工+1 農▲1 農+1 商▲1							

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。

注3 学校名の*は市町村立学校。

学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、17人の中卒者数の減のほか、市町村ごとの中卒者数の状況なども考慮した検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で281人の中卒者数の減が見込まれること、特に令和10年(2028)年において学区全体で119人(旭川市で116人)、令和12(2030)年に174人(旭川市で121人)の大幅な減が見込まれることから、旭川市内及び周辺町における配置の在り方の検討が必要
○1学級規模の高校の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携校以外の第1学年1学級の高校について、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続して20人未満となった場合は、再編整備の検討が必要
○地域連携校の導入	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年1学級の高校のうち、地理的状况等から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔システムを活用した教育環境の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要